

Chapter

02

STUDY PLAN-14C
入学生

01.商学科で学ぶ学生の履修の仕方	021
02.履修申請	022
03.成績表の見方	027
04.卒業要件単位数(外国人留学生も共通)	028
05.演習、単位認定科目	030
06.卒業見込証明書	031
07.資格取得	031
08.カリキュラム	032

01. 商学科で学ぶ学生の履修の仕方

(1) 流通・マーケティング履修モデル

消費者は何を求めているのか、消費者ニーズを分析して売れる商品・サービスを創り、それをスムーズに消費者に届けるしくみについて考える「マーケティング」関連科目、その商品を消費者に届けるためのしくみである流通について学ぶ「流通」関連科目、さらに、グローバル化に対応した「ロジスティクス」関連科目を中心に履修します。販売士などの資格取得もサポートします。将来、消費財メーカーや流通・物流企業を目指す人にはお勧めの履修モデルです。

(2) ITビジネス履修モデル

商学科における情報関連科目は、ビジネスにおける業務活動を支えている情報技術とその利用に関する基礎知識・技術を学ぶために設置しています。すなわち、情報技術そのものの専門家養成を目的にしているのではなく、ビジネス活動に情報技術をどのように適用すればよいかを考えることのできる能力の養成を目的にしています。したがって、ビジネスに関する知識と情報技術に関する知識の両方が必要になります。

(3) 金融・会計履修モデル

商学科では、経営に欠かせない活動内容や成果の記録、資金調達ならびに運用の手段、方法についての知識を習得するために、会計・金融関連科目を設置しています。企業では、毎日繰返される営業活動を簿記により記録し、期末に会計報告書を作成します。すなわち、簿記または会計は、企業の中でのおカネの流れを学ぶ実践的な学問です。税理士、公認会計士などの資格取得を目標にすることもできます。また、金融関連科目は、おカネが不足している経済主体に、おカネを余らせている経済主体が、おカネを融通する制度や仕組みを学びます。金融・会計履修モデルはこのようなおカネをめぐる問題を、マクロ的な社会経済の視点から、あるいはミクロ的な企業のレベルの視点から学ぶための履修モデルです。

02. 履修申請

- ・「履修申請」とは、自分が受けたい授業科目を申込みことです。
- ・「履修申請」は、本年度の学習方針を決定するだけでなく、次年度以降の履修にも影響しますので、履修制限等をよく読んで、自分の時間割の計画を立てて申請してください。
- ・大学では必修科目等を除いて、一定の枠の中から受けたい科目を選択できるようになっています。
- ・申請期限までに所定の手続きを行わなかったり、間違ったりすると、授業に出席して、試験を受けても単位が認められませんので、慎重に行ってください。
- ・申請の手順については、別に配布するWeb履修申請ガイドブックをご覧ください。

(1) 履修計画における注意点

- ①履修する科目を選ぶために、事前に「Webシラバス」をよく読んでください。
- ②各時間帯に開講されている授業科目の中から自分が受けたい科目を選び、選んだ科目を各自で履修申請してください。学生1人1人の時間割の内容は、同じ学部・学科であっても違ったものになります。
- ③同じ学部・学科でも、コースによって選択すべき科目が異なります。各コースの履修要件、卒業要件をよく読んで履修計画を立ててください。
- ④卒業資格最低単位数(卒業要件単位数)を充足できるよう重点においてください。
- ⑤申請する前に、学籍番号などによって指定されているクラスや演習等のクラスを確認してください。
- ⑥各ガイダンスには必ず参加してください。
- ⑦既に単位認定を受けた科目を、再度履修することはできません。

(2) 手続方法

①履修計画を立てる

配付資料に基づき履修計画を立て、Web履修申請ガイドブック巻末にある「時間割下書き用紙」に記入します。また、履修したい講義がクラス登録科目である場合には、同じく巻末にある「クラス登録応募下書き用紙」に記入します。講義科目の中には、学籍番号や学年により履修が制限されているもの、履修する講義が予め指定されているもの、抽選により履修者を決定するもの、プレイスメントテストの結果により履修指示が為されるもの等、さまざまなタイプがあります。これらの情報は、講義時間割の備考欄等に記載されています。

②登録手続き（3つの期間（順序）に分けて行う）

a. クラス登録科目応募

抽選により履修者を決定するタイプの科目は、履修申請に先立ち応募受付を行い、抽選処理を行います。抽選の結果、当選した場合に限り履修することができます。なお、当選した講義（クラス）は履修を取り消すことができません。詳細は、巻末の「クラス登録応募下書き用紙」をご覧ください。

b. 本申請

履修計画（下書きした時間割）に基づいて、コンピュータを操作し講義を登録してください。申請画面を開くと履修可能な講義が表示されています。（内容は学生ごとに異なります。）同時に、抽選により受講を許可された講義と既決履修講義が表示されています。これらの講義は、取り消すことができません。なお、期間内なら何度でも登録内容を変更することができます。登録が完了したら内容を印刷し、保管しておいてください。

c. 修正

登録した講義を修正（追加、削除）することができます。但し、抽選により履修が決定した講義、既決履修講義は取消できません。修正が完了したら、必ず登録内容を印刷してください。

【クラス登録の要領について】

- ・講義時間割の科目名左側に「●」「○」「◎」印がある講義の履修を希望する場合は、本申請に先立ちクラス登録が必要です。
- ・クラス登録は、応募受付⇒抽選⇒発表（本申請時には、当選した科目が画面に自動表示されています。）の順で行われます。
- ・当選した講義はキャンセルすることができません。また、はずれた方は、本申請期間または修正期間に残席がある場合に限り先着順で登録できます。

③言語文化科目

- ・担当教員は、後日掲示でお知らせします。決定した担当教員のクラスで履修申請をしてください。
- ・TOEICクラスの受講は、事前に実施した学力テストの基準に達した学生に限ります。
- ・第1希望にもれた場合は、同一曜日・時限の別のクラスに割当てられることがあります。
- ・新入生の英語については、プレイスメントテストの結果発表に従って履修申請してください。履修を希望しない場合は、予め教務課に申し出てください。

④身体科学科目

- ・再履修者は、再クラスでの登録となります。
- ・リハビリコースクラスは、怪我などで運動に制限がある学生が対象となります。
- ・体育研究室からの注意事項は次の通りです。

〈体育研究室からのお願い〉

受講時の注意

- ① 出欠席を厳しくとります。身体科学科目が半期科目（前期で終了または後期で終了）の場合は、半年に3回までの欠席は認めますが、4回以上欠席した学生は不合格となり単位は認定されません。
- ② 「スポー科学」や「運動科学」は、講義日の3/4以上の出席が必要です。
- ③ 「スポーツ科学実習」について
 - ・服装は、運動服であれば高校で使用したもので差し支えありません。
 - ・運動服には、白い布に学籍番号と氏名を書いて左腕と右尻に縫い付けてください。
 - ・体育館内のコースを受講する学生は、運動靴に赤線を入れて室内専用にご覧ください。
 - ・テニスコースを受講する学生は、テニスシューズを使用してください。
 - ・ロッカー使用の場合には、各自指定番号の鍵を使用し、授業時間ごとに借り出し、授業終了後ただちに返却してください。
- ④ 本科目の受講の指示は掲示で行いますから、体育館の掲示板を見るよう心掛けてください。
- ⑤ 前・後期両方とも同じ種目を取らないようにしてください。ただし、抽選で前・後期とも同じ種目になった場合は受講してください。
- ⑥ 「ボウリング」、「ゴルフ」については、ゲーム代等別途費用がかかります。

(3) 自由科目

他学部（自分の所属する学部以外）および他学科（自分の所属する学科以外）の専門教育科目（人間環境学部は展開科目）を、卒業までに30単位まで履修することができます。そのうち12単位までを、専門教育科目の選択科目として、卒業要件単位に算入することができます。（これを「自由科目」と称します。）ただし、履修の認められない科目がありますので、下表で確認してください。

自由科目を履修したい人は、Webシラバスをよく読んで選択してください。

自由科目は、Web履修申請画面で確認できる（表示されている）科目から選択してください。

商学科

他学部	他学科	卒業要件に認められる単位	自由科目として扱わない科目
人間環境	文化コミュニケーション、生活環境、スポーツ健康	12単位	製図、演習、実験、実習、卒業研究 ※その他各学科の事情等により除外する科目
—	経営		
経済	経済、国際経済		
デザイン工	情報システム、建築・環境デザイン		
工	機械工、交通機械工、都市創造工、電子情報通信工		

(4) 履修制限

商学科には以下の制限がありますので、注意してください。

14C学生に適用

1年間に履修できる単位数		<p>最大48単位 ただし、以下の科目は除きます。</p> <p>①演習科目:「入門演習A」、「入門演習B」、「演習基礎」、「演習1」、「演習2」</p> <p>②教員免許取得に係わる科目のうち、「教科に関する科目」の「日本史概論」、「外国史概論」、「東洋史概論」、「地理学概論」、「自然地理学概論」、「地誌学」、「政治学概論」、「社会学概論」、「哲学概論」、「倫理学概論」、「職業指導」、ならびに「教職に関する科目」および「教科又は教職に関する科目」※</p>
学年による科目の制限		<p>1年次:1年次配当科目を履修することができます。</p> <p>2年次:1、2年次配当科目を履修することができます。</p> <p>3年次:1～3年次配当科目を履修することができます。</p> <p>4年次:すべての開講科目を履修することができます。</p>
総合教育科目	教養教育科目	<p>■「コンピュータ・リテラシ」および「表現力基礎演習」は全員履修科目のため、初年度に必ず履修してください。ただし、留学生は「表現力基礎演習」を履修しなくてもかまいません。</p> <p>■留学生は、「日本事情1・2」、「日本の社会と文化1・2」を必修科目とします。</p>
	言語文化科目	<p>■初修外国語(独・仏・中・朝)を履修する場合は、最初に必ず「入門(基礎)1・2」を履修してください。(中上級科目との同時履修可)</p> <p>■英語については、プレイスメントテストの結果により、初年度のみ習熟度別クラスに登録されます。履修を希望しない学生は、プレイスメントテストを受けてはいけません。留学生に英語プレイスメントテストは実施しません。</p> <p>■留学生は、「日本語読解1・2」、「日本語作文1・2」、「上級日本語読解1・2」、「上級日本語作文1・2」の8単位を必修とし、母国語を履修することはできません。</p>
専門教育科目	演習科目	<p>■「入門演習A」、「入門演習B」、「演習基礎」は全員履修科目のため、配当年次に必ず履修してください。</p> <p>■「演習1」を修得していなければ、「演習2」を履修することはできません。</p> <p>■「演習1」、「演習2」は、同一教員で履修しなければなりません。</p>
	商学総合科目	<p>■「商学総合講座」、「ビジネス総合講座」は、全員履修科目です。</p>
その他		<p>既に単位認定を受けた科目を、再度履修することはできません。</p>

※詳しい科目については教職課程履修ガイドブックを参照してください。

03. 成績表の見方

- ・発表される「成績表」は、当該年度の前期末または学年末までの成績です。
- ・単位左側の文字の「必」は必修科目、「選必」は選択必修科目、「選」は選択科目を表わします。
- ・成績欄右寄りの評価は「今年度の成績」、中央の評価は「昨年度までの成績」を表わします。
- ・評価・認定は、「S」「A」「B」「C」「D」「T」で判定します。

修得単位数欄

卒業要件単位数	卒業に必要な単位数
修得卒業要件単位数	現在修得している全ての単位のうち卒業要件としてカウントされた単位数
修得総単位数	現在修得している全ての単位数

進級・卒業判定欄

1年次	2年次	3年次	4年次	卒業	4留
1年	2年	3年	4年	卒業できる	卒業延期

来年度欄 (3年生以上)

卒見証発行	有	無
	卒業見込証明書発行可	卒業見込証明書発行不可

履修制限メッセージ

S1	来年度「演習2」を履修することができません
----	-----------------------

04. 卒業要件単位数 (外国人留学生も共通)

卒業するためには、以下の2つの条件を満たさなければなりません。

①4年間(編入生は2年間)以上在学

休学期間は在学年数に含まれません。したがって、半期でも休学すると4年(編入生は2年)で卒業することができません。

②学科で定められた卒業要件単位124単位以上(編入生は別途定める)を修得

カリキュラム上、区分ごとに卒業に必要な単位数が異なります。履修の仕方によっては単位を修得しても卒業要件単位に入らない場合がありますので、注意してください。

(1) 卒業要件単位数

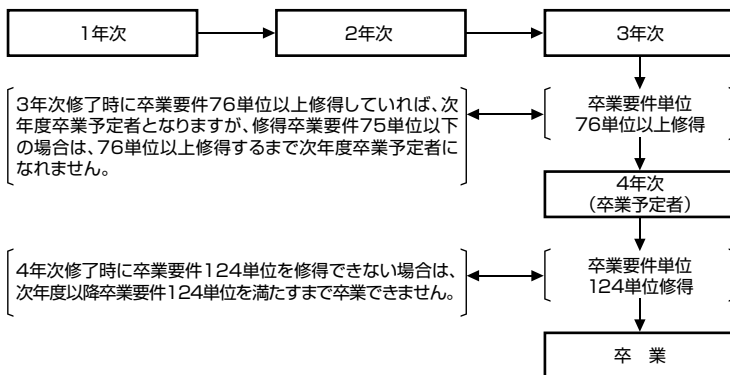
総合教育科目	教養教育科目	リテラシ	24単位以上	124単位	学士(経営学)
		人文科学			
		社会科学			
		自然科学			
		学際領域			
		日本文化			
	人間教育				
言語文化科目	英語	8単位以上			
	初修外国語				
	日本語		8単位(留学生のみ)		
身体科学科目					
専門教育科目	選択必修6単位、選択78単位以上(自由科目12単位を含む)		84単位以上		
4年以上在学					

(2) 進級の条件

修得単位数にかかわらず、4年次まで進級できますが、年間48単位(入門演習、演習基礎、演習1、演習2、教職科目等を除く。)を上限とする履修制限がありますので、計画的に修学してください。

また、進級するためには、1年を通じて在学していなければなりません。

— 進級および卒業までの流れ —



(上図は「演習2」を履修しない場合)

(3) 卒業要件単位の履修要件

【総合教育科目】24単位以上

①**必修科目** (卒業するまでに必ず修得します。カリキュラム表の単位数に○印のついた科目です。)

留学生以外の学生に必修科目はありません。留学生は、教養教育科目分野の日本文化科目群「日本事情1」、「日本事情2」、「日本の社会と文化1」、「日本の社会と文化2」4科目8単位、言語文化科目分野の日本語科目群「日本語読解1」、「日本語読解2」、「日本語作文1」、「日本語作文2」、「上級日本語読解1」、「上級日本語読解2」、「上級日本語作文1」、「上級日本語作文2」8科目8単位を必ず修得してください。

②**選択必修科目** (特定の科目群から指定された単位を修得します。)

言語文化科目分野から、8単位を修得します。複数の言語も卒業要件単位に入りますが、初修外国語は最初に必ず「入門(基礎)1および2」を履修しなければなりません。留学生は、履修しなくてもかまいません。

③**選択科目** (必修、選択必修科目以外の中から自由に選んで修得します。)

①②以外に、16単位以上(留学生は8単位以上)を修得してください。制限により履修できない科目もあります。

【専門教育科目】84単位以上

①**選択必修科目** (特定の科目群から指定された単位を修得します。)

専門基礎科目群から6単位を修得してください。6単位を超えて修得した単位は選択科目の単位に入ります。

②**選択科目** (必修、選択必修科目以外の中から自由に選んで修得します。)

選択必修科目以外に、78単位以上を修得してください。ただし、ビジネススキル科目群10科目から15単位を超えて修得した単位は、卒業要件単位に入りません。

※総合教育科目(24単位以上)、専門教育科目(84単位以上)の最低要件単位は合計108単位です。卒業要件124単位に不足する16単位については、各区分の最低要件単位数を超えた単位で補ってください。

05. 演習、単位認定科目

(1) 演習科目

演習とは、各自が興味を持ち、より深く研究したいと思う専門分野について、指導教員と共に論じ研究するための科目です。少人数で構成されるので、より詳細な研究とより親密な人間関係が形成され、大学生活の中で重要かつ有意義な科目のひとつです。

クラス分けは、希望を基にした選考を行います。定員数を超えた場合は、演習クラスの選択理由や成績等を考慮した上で、担当教員がクラス分けを行います。

科目名	配当年次	必/選	備考
入門演習A	1年次	選択	全員履修※1
入門演習B	1年次	選択	全員履修※1
演習基礎	2年次	選択	全員履修※1
演習1	3年次	選択	
演習2	4年次	選択	「演習1」を修得していなければ、履修することができません。※2

※1:全員履修科目は、配当年次に履修してください。

※2:「演習1」および「演習2」は、同一教員で行います。

(2) 単位認定科目

- ・専門教育科目の中で、「ビジネススキルA・B」、「インターンシップ」、「ボランティア」の4科目は、履修申請を必要としない単位認定科目です。
- ・卒業見込み判定の関係上、4年次には単位認定することはできません。

① ビジネススキルA・B

- ・ビジネススキルA・Bは、学科が指定する資格を取得した学生に対し単位を認定する科目です。1年次～3年次終了までの間に所定の手続きを行ってください。
- ・認定された単位は、選択科目の卒業要件単位として加算されます。(選択必修6単位には加算することはできません。)
- ・指定の資格の種類および手続き方法については、別途学科より案内(掲示)します。

② インターンシップ

- ・インターンシップは、学科が指定する受入先企業で実際の業務を見聞き、経験するための科目です。3年次終了までの間に所定の手続きを行ってください。
- ・認定された単位は、選択科目の卒業要件単位に加算されます。
- ・手続き方法については、別途学科より案内(掲示)します。

③ ボランティア

- ・学科が指定するボランティアプログラムを経験する科目です。1年次～3年次終了までに所定の手続きを行ってください。
- ・認定された単位は、選択科目の卒業要件単位に加算されます。
- ・手続き方法については、別途学科より案内(掲示)します。

06. 卒業見込証明書

卒業見込証明書の発行条件は、以下のとおりです。[4月1日以降発行]

- ①3年次修了時において、既に卒業要件単位を124単位以上修得している。
- ②4年次に履修申請した単位の修得によって卒業要件単位124単位を充足できる。

※卒業見込証明書は、就職活動のために訪れる企業などに提出するものです。必要な人は、証明書自動発行機（本館1階、クリスタルテラス）を利用してください。

07. 資格取得

本学を卒業、または特定の科目を修得することによって得られる資格・免許（あるいは一部免除）を一覧表にしましたので、履修コースの選択や履修科目の参考にしてください。また、他にも卒業後の実務経験で得られる資格（要申請）、実務経験により受験資格が得られる資格、受験科目の一部が免除される資格など多数あります。それら資格（免許）の職務内容や取得方法に関しては、教育支援センター（5号館1階）で相談してください。

(1) 教員免許状

免許（資格）の種類	対象学科	取得の要件
高等学校教諭一種免許状（商業）	商学科	それぞれの免許に定められた教職教科専門科目と教職専門科目を修得した者（詳細は教職ガイダンスで説明します）。
高等学校教諭一種免許状（公民）		
中学校教諭一種免許状（社会）		

(2) 特定の科目を修了することにより取得できる資格

資格の種類	認定の内容	対象学部	取得の要件
社会保険労務士	受験資格	全学部	卒業要件に必要とする62単位以上修得

(3) 本学実施の資格取得試験など

資格の種類	対象学部	取得の要件・その他
日本商工会議所認定簿記検定試験2・3・4級	全学部	試験合格（年3回実施されますが、本学では6月と11月の年2回を学内で実施します。申込方法は、掲示板でお知らせします。）
ガス溶接技能者	全学部	ガス溶接技能講習修了。

08. カリキュラム

(1) 総合教育科目

(単位数を○でかこんだものは必修科目)

区分	科目	単位	卒業資格 最低単位数	週 時 間 数				備 考		
				1年次	2年次	3年次	4年次			
				前 後 期 期	前 後 期 期	前 後 期 期	前 後 期 期			
総合教育科目	リテラシ	コンピュータ・リテラシ	2	24 以上	2				全員履修科目	
		表現力基礎演習	2		2				全員履修科目	
	人文科学	文 学	2			2				
		哲 学	2			2				
		論 理 学	2			2				
		心 理 学	2			2				
		人文科学特殊講義	2			2				
	社会科学	日本国憲法	2			2				
		現代の政治	2			2				
		近現代史	2			2				
		地 理 学	2			2				
	自然科学	社会科学特殊講義	2			2				
		宇宙科学	2			2				
		環境科学	2			2				
		生命科学	2			2				
		文系のための数学	2			2				
		文系のための統計学	2			2				
		自然科学特殊講義	2			2				
	学際領域	平和学	2			2				
		時事問題	2			2				
		道徳と現代倫理	2			2				
		科学技術史	2			2				
		学際領域特殊講義	2			2				
	日本文化	日本事情 1	②			2				留学生向け科目
		日本事情 2	②			2				留学生向け科目
		日本の社会と文化 1	②			2				留学生向け科目
		日本の社会と文化 2	②			2				留学生向け科目
	人間教育	生涯学習論	2				2			教職課程科目
人権教育		2			2			教職課程科目		

区分	科目	単位	最低単位数	卒業資格	週時間数				備考		
					1年次	2年次	3年次	4年次			
					前;後期	前;後期	前;後期	前;後期			
総合 言語 教育 科目	英語 (Listening&Speaking) 1	1	8以上	(24以上)	2				(集中)		
	英語 (Listening&Speaking) 2	1			2						
	英語 (Listening&Speaking) 3	1				2					
	英語 (Listening&Speaking) 4	1					2				
	TOEIC上級 (Listening) 1	1					2				
	TOEIC上級 (Listening) 2	1						2			
	英語 (Reading&Writing) 1	1			2						
	英語 (Reading&Writing) 2	1				2					
	英語 (Reading&Writing) 3	1					2				
	英語 (Reading&Writing) 4	1						2			
	TOEIC上級 (Reading) 1	1					2				
	TOEIC上級 (Reading) 2	1						2			
	英語総合(上級) 1	1						2			
	英語総合(上級) 2	1								2	
	英語海外研修	2					2	2			
	ドイツ語入門(基礎) 1	1			2						
	ドイツ語入門(基礎) 2	1				2					
	ドイツ語入門(会話) 1	1			2						
	ドイツ語入門(会話) 2	1				2					
	ドイツ語初級 1	1					2				
	ドイツ語初級 2	1						2			
	ドイツ語総合 1	1								2	
	ドイツ語総合 2	1									2
	ドイツ語海外研修	2					2	2			
	フランス語入門(基礎) 1	1			2						
	フランス語入門(基礎) 2	1				2					
	フランス語入門(会話) 1	1			2						
	フランス語入門(会話) 2	1				2					
	フランス語初級 1	1					2				
	フランス語初級 2	1						2			
フランス語総合 1	1					2					
フランス語総合 2	1						2				
フランス語海外研修	2			2	2						

区分	科目	単位	卒業資格 最低単位数	週 時 間 数				備 考				
				1年次		2年次			3年次		4年次	
				前 期	後 期	前 期	後 期		前 期	後 期	前 期	後 期
総合 教育 科目	言語 文化 科目 初修外国語	中国語入門(基礎)1	1	(8以上) (24以上)	2						(集中)	
		中国語入門(基礎)2	1			2						
		中国語入門(会話)1	1		2							
		中国語入門(会話)2	1			2						
		中国語初級1	1				2					
		中国語初級2	1					2				
		中国語総合1	1						2			
		中国語総合2	1							2		
		中国語海外研修	2				2	2				
		朝鮮語入門(基礎)1	1		2							
		朝鮮語入門(基礎)2	1			2						
		朝鮮語入門(会話)1	1		2							
		朝鮮語入門(会話)2	1			2						
		朝鮮語初級1	1				2					
		朝鮮語初級2	1					2				
		朝鮮語総合1	1						2			
		朝鮮語総合2	1							2		
		朝鮮語海外研修	2				2	2				
	日本語	日本語読解1	①	2					留学生向け科目			
		日本語読解2	①		2				留学生向け科目			
		日本語作文1	①	2					留学生向け科目			
		日本語作文2	①		2				留学生向け科目			
		上級日本語読解1	①			2			留学生向け科目			
		上級日本語読解2	①				2		留学生向け科目			
		上級日本語作文1	①			2			留学生向け科目			
		上級日本語作文2	①				2		留学生向け科目			
	身体科学科目	スポーツ科学実習1	1	2								
		スポーツ科学実習2	1		2							
スポーツ科学		2			2							
運動科学		2				2						
小 計		128	24以上	54	52	34	34	10	10	0	0	

注) 総合教育科目の履修要件

- イ 「表現力基礎演習」は留学生については随意選択科目とする。
- ロ 1年次配当の英語についてはプレイスメントテストを実施し、その結果に基づいて習熟度別にクラスを分ける。
ただし英語の2年次および3年次配当科目については、この限りではない
- ハ 初修外国語(ドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮語)は複数の言語を卒業要件単位に算入することも可能とする。
ただし各言語は必ず最初に「入門(基礎)1」および「入門(基礎)2」を履修しなければならない。
- ニ 留学生には「日本文化」の4科目8単位および「日本語」の8科目8単位を必修とする。
なお、留学生は、言語文化科目として母語を履修することは出来ない。
- ホ 留学生には英語のプレイスメントテストを実施しない。

区分	科目	単位	卒業資格 最低単位数	週時間数				備考	
				1年次	2年次	3年次	4年次		
				前期 後期	前期 後期	前期 後期	前期 後期		
専 門 教 育 科 目	ロジスティクス科目	ロジスティクス論 A	2		2				
		ロジスティクス論 B	2		2				
		国際物流論 A	2		2				
		国際物流論 B	2		2				
		交通経済論	2		2				
		陸上交通論	2		2				
		航空交通論 A	2		2				
		航空交通論 B	2		2				
		観光論	2		2				
	経営・会計科目	経営管理論	2		2				
		経営心理論	2		2				
		経営財務論	2		2				
		ベンチャービジネス論	2	2					
		国際経営論	2		2				
		日本経営史	2		2				
		日会計	2	2					
		財務諸表論	2		2				
		国際会計論	2		2				
		管理会計論	2		2				
		簿記 A	2	2					
		簿記 B	2		2				
		簿記ミドル A	2	2					
		簿記ミドル B	2		2				
		経済法律科目	ミクロ経済学 A	2		2			
	ミクロ経済学 B		2		2				
	産業組織論 A		2		2				
	産業組織論 B		2		2				
	金融論 A		2		2				
	金融論 B		2		2				
	財政学		2			2			
地方財政論	2					2			
日本経済史	2			2					
経済地理	2				2				
民法	2		2						
商法	2			2					
国際法	2				2				

(選択必修6・選択78以上 合計84以上)

区分	科目	単位	卒業資格 最低単位数	週 時 間 数				備 考			
				1年次	2年次	3年次	4年次				
				前期 後期	前期 後期	前期 後期	前期 後期				
専 門 教 育 科 目	演 習	入 門 演 習 A	2	2				全員履修科目			
		入 門 演 習 B	2	2				全員履修科目			
		演 習 基 礎	2		2			全員履修科目			
		演 習 1	4			2	2				
		演 習 2	8				4	4	卒業論文指導(集中) 4単位分を含む		
	ビ ジ ネ ス ス キ ル 科 目	セールスプロモーションA	2	0 { 15 (選択必修6・選択78以上 合計84以上)	4						
		セールスプロモーションB	2		4						
		不動産流通マネジメントA	3		6						
		不動産流通マネジメントB	3			6					
		ファイナンシャル・プランニングA	2		4						
		ファイナンシャル・プランニングB	3			6					
		貿 易 ビ ジ ネ ス	2		4						
		経 営 情 報 シ ス テ ム	2		4						
		ビ ジ ネ ス ス キ ル A	2		2					◎	
		ビ ジ ネ ス ス キ ル B	2		2					◎	
	商 学 総 合 科 目	イ ン タ ー ン シ ッ プ	2			2			◎		
		ボ ラ ン テ ィ ア	2		2				◎		
		商 学 総 合 講 座	2			2			全員履修科目		
		ビ ジ ネ ス 総 合 講 座	2					2	全員履修科目		
		特 殊 講 義	2	2							
小 計		199	84以上	42	32	60	54	14	6	4	6
総合教育科目・専門教育科目合計		327	124以上	96	84	94	88	24	16	4	6

注) 専門教育科目の履修要件

備考欄中の◎印は単位認定科目とし、3年次後期(冬期休業開始まで)までに申し出たものは、学科の判断に基づき、単位認定を受けることができる。

※週時間数欄の数字は、2=週1コマ、4=週2コマの授業があることを示します。1年次は1年次の、2年次は1、2年次の、3年次は1、2、3年次の、4年次は1、2、3、4年次の欄に数字のある科目を履修することができます。ただし、履修制限等により履修できない場合もあります。

Chapter

02

STUDY PLAN-12C
編入生

01.商学科で学ぶ学生の履修の仕方	039
02.履修制限	040
03.卒業要件単位数(外国人留学生も共通)	041
04.演習科目	043
05.卒業見込証明書	043
06.カリキュラム	044

01. 商学科で学ぶ学生の履修の仕方

(1) 流通・マーケティング履修モデル

消費者は何を求めているのか、消費者ニーズを分析して売れる商品・サービスを創り、それをスムーズに消費者に届けるしくみについて考える「マーケティング」関連科目、その商品を消費者に届けるためのしくみである流通について学ぶ「流通」関連科目、さらに、グローバル化に対応した「ロジスティクス」関連科目を中心に履修します。販売士などの資格取得もサポートします。将来、消費財メーカーや流通・物流企業を目指す人にはお勤めの履修モデルです。

(2) ITビジネス履修モデル

商学科における情報関連科目は、ビジネスにおける業務活動を支えている情報技術とその利用に関する基礎知識・技術を学ぶために設置しています。すなわち、情報技術そのものの専門家養成を目的にしているのではなく、ビジネス活動に情報技術をどのように適用すればよいかを考えることのできる能力の養成を目的にしています。したがって、ビジネスに関する知識と情報技術に関する知識の両方が必要になります。

(3) 金融・会計履修モデル

商学科では、経営に欠かせない活動内容や成果の記録、資金調達ならびに運用の手段、方法についての知識を習得するために、会計・金融関連科目を設置しています。企業では、毎日繰返される営業活動を簿記により記録し、期末に会計報告書を作成します。すなわち、簿記または会計は、企業の中でのおカネの流れを学ぶ実践的な学問です。税理士、公認会計士などの資格取得を目標にすることもできます。また、金融関連科目は、おカネが不足している経済主体に、おカネを余らせている経済主体が、おカネを融通する制度や仕組みを学びます。金融・会計履修モデルはこのようなおカネをめぐる問題を、マクロ的な社会経済の視点から、あるいはミクロ的な企業のレベルの視点から学ぶための履修モデルです。

02. 履修制限

(1) 履修制限

12C編入生には以下の制限がありますので、注意してください。

12C編入生に適用

1年間に履修できる単位数	<p>最大48単位 ただし、以下の科目は除きます。</p> <p>①演習科目:「演習1」、「演習2」 ②教員免許取得に係わる科目のうち、「教科に関する科目」の「日本史概論」、「外国史概論」、「東洋史概論」、「地理学概論」、「自然地理学概論」、「地誌学」、「政治学概論」、「社会学概論」、「哲学概論」、「倫理学概論」、「職業指導」ならびに「教職に関する科目」および「教科又は教職に関する科目」※</p>
学年による科目の制限	<p>3年次:1~3年次の配当科目を履修することができます。 4年次:すべての開講科目を履修することができます。</p>
科目履修上の制限	<p>■全員履修科目の「コンピュータ・リテラシ」(教育職員免許状を取得しようとする者は除く)、「表現力基礎演習」、「商学総合講座」、「入門演習」および「演習基礎」は履修することができません。 ■「演習2」を履修するためには、原則として「演習1」をあらかじめ履修していなければなりません。 ■「演習1」および「演習2」は、原則として同一教員でなければなりません。</p>
総合教育科目	卒業要件単位には算入されませんが、履修することは可能です。
選択必修科目	専門教育科目区分の専門基礎科目分野より6単位を修得してください。ただし、6単位を超えて修得した単位は、選択科目として卒業要件単位に算入することができます。
選択科目	<p>選択科目は、56単位とする。</p> <p>①専門教育科目区分の専門基礎科目分野より6単位を超えて修得した単位を卒業要件単位に組み入れることができます。 ②専門教育科目区分のビジネススキル科目分野からは、15単位を上限として卒業要件単位に組み入れることができます。 ③自由科目制度により修得した単位は、12単位を上限として、卒業要件単位に組み入れることができます。</p>

※詳しい科目については教職課程履修ガイドブックを参照してください。

(2) 未開講科目

カリキュラム表にある科目でも、本年度の時間割に載っていない科目については未開講となります。

03. 卒業要件単位数（外国人留学生も共通）

(1) 卒業要件単位数

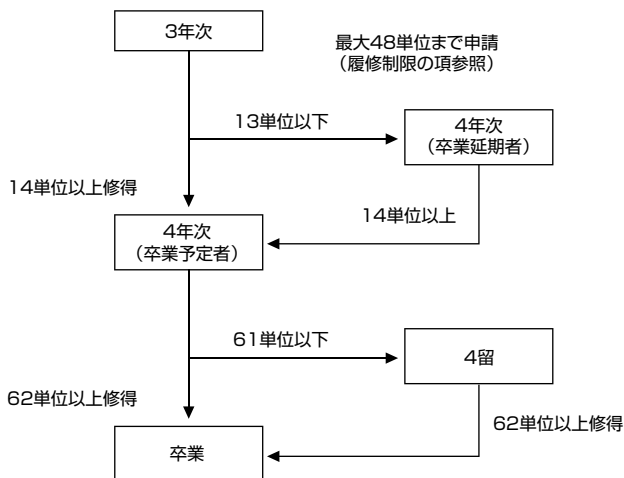
専門教育科目	選択必修科目	6単位	62単位	学士（経営学） （学位）
	選択科目（自由科目12単位を含む。）	56単位		
2年以上在学				

(2) 進級の条件

修得単位数にかかわらず、4年次まで進級できますが、年間48単位（演習1・2、教職科目等を除く。）を上限とする履修制限がありますので、計画的に修学してください。

また、進級するためには、1年を通じて在学していなければなりません。

—進級および卒業までの流れ—



(上図は「演習2」を履修しない場合)

(3) 卒業要件単位の履修要件

① 選択必修科目【6単位】

専門教育科目区分の専門基礎科目分野より6単位を修得してください。ただし、6単位を超えて修得した単位は、選択科目として、卒業要件単元に算入することができます。

区 分	科 目 名	単位数	備 考
専 門 基 礎 科 目	商学入門A 商学入門B マーケティング入門A マーケティング入門B 経営学入門 経済学入門 情報処理入門	各2	左記より、3科目 を修得してください。

② 選択科目【56単位】

- ・専門教育科目区分の専門基礎科目分野より6単位を超えて修得した単位を卒業要件単元に組み入れることができます。
- ・専門教育科目区分のビジネススキル科目分野からは15単位を上限として卒業要件単元に組み入れることができます。
- ・自由科目制度により修得した単位は、12単位を上限として、卒業要件単元に組み入れることができます。

04. 演習科目

演習とは、各自が興味を持ち、より深く研究したいと思う専門分野について、指導教員と共に論じ研究するための科目です。少人数で構成されるので、より詳細な研究とより親密な人間関係が形成され、大学生活の中で重要かつ有意義な科目のひとつです。

クラス分けは、希望を基にした選考を行いますが、定員数を超えた場合は、演習クラスの選択理由や成績等を考慮した上で、担当教員がクラス分けを行います。

科目名	配当年次	必/選	備考
演習1	3年次	選択	クラス発表は、12号館の掲示板で行います。
演習2	4年次	選択	演習1と同一教員で行います。 演習1を履修していなければ履修することはできません。

05. 卒業見込証明書

「卒業見込証明書」は、3年次修了時点で既に卒業要件単位を14単位以上修得し、4年次において履修申請した科目を全部または一部修得すれば卒業できる者に対して発行します。(4月1日以降発行)

※卒業見込証明書は、就職活動のために訪れる企業などに提出するものです。必要な人は、証明書自動発行機(本館1階、クリスタルテラス)を利用してください。

区分	科目	単位	卒業資格 最低単位数	週時間数				備考	
				1年次	2年次	3年次	4年次		
				前・後期	前・後期	前・後期	前・後期		
専 門 教 育 科 目	ロジスティクス科目	ロジスティクス論 A	2		2				
		ロジスティクス論 B	2		2				
		国際物流論 A	2		2				
		国際物流論 B	2		2				
		交通経済論	2		2				
		陸上交通論 A	2		2				
		陸上交通論 B	2		2				
		航空交通論 A	2		2				
		航空交通論 B	2		2				
		観光論	2		2				
	経営・会計科目	経営管理論	2		2				
		経営心理論	2		2				
		経営財務論	2		2				
		ベンチャービジネス論	2	2					
		国際経営論	2		2				
		日本経営史	2		2				
		会計学	2	2					
		財務諸表論	2		2				
		国際会計論	2		2				
		管理会計論	2		2				
		簿記 A	2	2					
		簿記 B	2	2					
		簿記ミドル A	2	2					
		簿記ミドル B	2	2					
	経済・法律科目	ミクロ経済学 A	2		2				
		ミクロ経済学 B	2		2				
		産業組織論 A	2		2				
		産業組織論 B	2		2				
		金融論 A	2		2				
		金融論 B	2		2				
		財政学	2			2			
		地方財政論	2				2		
日本経済史		2		2					
経済地理		2			2				
民法		2		2					
商法		2			2				
国際法		2				2			

(選択必修6・選択56以上 合計62以上)

区分	科目	単位	卒業資格 最低単位数	週時間数				備考				
				1年次		2年次			3年次		4年次	
				前期	後期	前期	後期		前期	後期	前期	後期
専 門 教 育 科 目	入門演習	1	4	—						卒業論文指導(集中) 4単位分を含む		
	演習基礎	1	4		—							
	演習	1	4			2	2					
	演習	2	8					4	4			
	ビジネススキル科目	セールスプロモーションA	2	0 15 (選択必修6・選択56以上 合計62以上)	4							
		セールスプロモーションB	2		4							
		不動産流通マネジメントA	3		6							
		不動産流通マネジメントB	3			6						
		ファイナンシャル・プランニングA	2		4							
		ファイナンシャル・プランニングB	3			6						
		貿易ビジネス	2		4							
		経営情報システム	2		4							
		ビジネススキルA	2		2							◎
		ビジネススキルB	2		2							◎
	商学総合科目	インターンシップ	2				2				◎	
		ボランティア	2				2				◎	
		商学総合講座	—			—						
ビジネス総合講座		2						2	全員履修科目			
特殊講義		2		2								
合計			62									

注) 専門教育科目の履修要件

備考欄中の◎印は単位認定科目とし、3年次後期(冬期休業開始まで)までに申し出たものは、学科の判断に基づき、単位認定を受けることができます。

※週時間数欄の数字は、2=週1コマ、4=週2コマの授業があることを示します。1年次は1年次の、2年次は1、2年次の、3年次は1、2、3年次の、4年次は1、2、3、4年次の欄に数字のある科目を履修することができます。ただし、履修制限等により履修できない場合もあります。